

【2026 年度/教養科目領域/基盤科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英会話		選択	1	1.2	前期・後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
堤 美智	B315	michi.tsutsumi	木曜日 12:00~12:50		
授業の目的・概要	この講義ではネイティブの英語を聞き取れるように「発音」に重点を置き、英語の耳作りと口作りをしていく。ネイティブスピーカーが普段使っている「話し言葉」を取り上げ、アクセントやリズム（音の強弱）を練習していく。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 (      )				
学習上の助言	時事を英語で理解したり、ネイティブスピーカーの英語を聞き取れることを意識すること。				
教科書	必要に応じて教材を配布する。				
参考書	英和辞典				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	音の連結 (リエゾン) や音の消失 (リダクション) を理解できるようにする。			HSU(2)	
②	日常会話を踏まえ、1つのかたまりのように「音の変化」を発音できるようにする。			HSU(2)	
③	英会話に積極的に参加することができる。			HSU(2)(4)	
④	自分自身のことや家族、友達などについて英語で描写することができる。			HSU(2)	
⑤	英語で道案内ができる。			HSU(2)(5)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	英会話の学び方：英語力チェック	講義・演習	英語を書ける準備をする。教科書を見て、今後の講義に備える。	1	
2	発音練習【t】・【d】	講義・演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
3	発音【l】・【s】	講義・演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
4	発音【s】・【g】	講義・演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
5	発音【o】・【h】	講義・演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
6	Exam1、第1回から第6回までの講評(1)	講義・演習	テストから自分の弱い箇所を復習する。	1	
7	発音【v】・【a】	講義・演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
8	発音【y】	講義・演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
9	発音【Around the House】	講義・演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
10	発音【At the Front Door】	講義・演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
11	発音:母音 サシスセソ子音について 発音【Living Room】	講義・演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
12	発音【連続する子音について】発音【Telephone】電話にて会話をするときの発音を学ぶ	講義・演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
13	発音【変化するTについて】発音【語尾の消失について】発音【Around the Sink】	講義・演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
14	発音【Toilet Area】の発音を学ぶ	講義・演習	英語を聞く耳を作る準備をする。配布資料を読み、復習する。	1	
15	EXAM 2、第7回から第14回までの講評(2)	講義・演習	これまでの小テストを学びなおす。	1	
試	定期試験は行わない。				

【2026 年度/教養科目領域/基盤科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	0	25	0	25	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	15	0	0	15
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	20	0	5	0	0	25
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	25	25
問題を発見・解決する力	20	0	5	0	0	25	
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①		試験は授業内で2回行う。			試験の評価、教員よりの助言・コーチング	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	対面授業の場合は毎回、英文をノートに書き取りをし、受講者一人ひとり発音をし、そのご受講生全員で再度発音練習をする。			教員による発音チェックと助言・コーチング	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	グループワーク・授業に対する貢献度と、毎回の発音練習、小テスト結果から鑑みる。			教員による助言・コーチング	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	担当する教員は、大学における教育経験を10年以上有したものである。						
実践的授業の内容	発音に重点をおき、日常の英単語等について学ぶ。						
そ の 他	本科目の定員は24名である。 参加・コミュニケーション力を評価するため授業を欠席した日の評価は0点とする。 シラバスは将来変更される可能性があるため、注意すること。シラバスの変更が生じる場合は授業・Teams等で周知する。						